

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成24年7月5日 (2012.7.5)

【公開番号】特開2011-7676(P2011-7676A)

【公開日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2009-152363(P2009-152363)

【国際特許分類】

G 0 1 P 3/489 (2006.01)

G 0 1 P 3/486 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

G 0 1 P 3/489 D

G 0 1 P 3/486 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月17日 (2012.5.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

また、UI パネル 9 0 は、各種の情報を表示するための表示部と利用者が任意の情報や指示を入力可能な入力部を含んで構成され、具体的には、例えば表示部としてのディスプレイ上に入力部としての透過型のタッチパネルが重ねられたタッチパネルディスプレイ等で構成される。ロータリエンコーダ 5 2 は、画像形成ドラム 4 4 の回転に伴って検出部 7 4 (の光電変換部 8 0) から出力された出力パルス信号をコンピュータ 8 6 へ供給する。なお、ロータリエンコーダ 5 2 は光電変換部 8 0 の出力電流の大きさを検出する電流検出部 (図示省略) を内蔵しており、電流検出部によって検出された光電変換部 8 0 の出力電流値もコンピュータ 8 6 へ出力される。記録ヘッドコントローラ 9 2 は C P U 8 6 A からの指示に従ってインクジェット記録ヘッド 4 8 の作動を制御し、モータコントローラ 9 4 は C P U 8 6 A からの指示に従ってモータ 3 0 の作動を制御する。なお、コンピュータ 8 6 及びロータリエンコーダ 5 2 は本発明に係る速度検出装置に対応しており、インクジェット記録ヘッド 4 8 は請求項 7 に記載の記録手段に、C P U 8 6 A 及び記録ヘッドコントローラ 9 2 は請求項 7 に記載の制御装置に各々対応している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

ステップ 1 7 0 では、先に説明したステップ 1 5 2 と同様に、コードホイール 7 0 の表面のうちライン i が記録されている部位付近におけるコードホイール 7 0 の回転軸方向への変位量 w i を検出するタイミングが到来したか否か判定し、判定が肯定される迄ステップ 1 7 0 を繰り返す。ステップ 1 7 0 の判定が肯定されるとステップ 1 7 2 へ移行し、先に説明したステップ 1 5 4 と同様に、出力パルス信号と共にロータリエンコーダ 5 2 から入力される光電変換部 8 0 の出力電流値を取得し、取得した出力電流値に基づいてライン

i 付近におけるコードホイール 70 の回転軸方向への変位量 w_i を演算し、演算した変位量 w_i を R A M 8 6 C に記憶されている変位量 w_i に上書きして記憶させる。